ミツバ岳山行報告

【山 行 日】2018年 3月 28日(水)　快晴
【集　　合】岩舟支所P　　AM　6:00
【費　　用】マイカー1台　：　4600円
【メンバー】CL:鈴木、 岩渕、大西、関、田中
【コースタイム】岩舟支所 P6:00＝寺ノ沢P8:30/8:40～ミツバ岳登山口 8:50～ミツバ岳10:05/10:25～権現山 11:10/11:20～756mピーク 11:55/12:25～浅瀬入口バス停 13:25～丹沢湖記念館 P13:40/13:50＝道の駅「やまきた」14:10/14:25＝岩舟支所 P16:50

去年、ミツマタの花と富士山のコラボが素晴らしく、もう一度登りたいとリクエストがあり計画した。今年は花の開花時期が異常に早く、去年よりも10日早く見ごろを迎えるようなので早く計画した。東北道から圏央道を走ると桜の花が満開で、「お花見旅行みたいで楽しいね～」と嬉しそう。

東名高速に入るとさらに桜の花が素晴らしく、皆さんキレイを連発し満開の桜に見入っていた。大井松田ICで東名高速を降り、山北町に入ると圧巻だった。町中が桜で埋めつくされたように桜が咲き誇り見事としか言いようがない。道の駅「やまきた」に寄り、トイレを済ませて寺ノ沢駐車場に行く。今回も奥の止めにくい場所が2台分空いており、長いバック運転で車を止める。出発の準備をしていると車がバックしてきて隣に止め満車となり「止められて良かったね～」と顔を見合わせる。準備を整えストレッチを済ませて出発し、駐車場から左に舗装道を進み滝壺橋を渡った所が登山口だ。雑木林の急傾斜の登山道を登ると、杉林の急斜面をジグザグに登るようになりボンボンのようなミツマタの花が迎えてくれる。結構きつい登りに堪えながら、皆黙々と登って行く。上から下ってくる人はニコニコ顔で「ミツマタは満開で最高だよ」と声を掛けて行く。

はるか上には30人くらいの団体が登って行くのが見える。こうなるとO嬢の闘志に火が付、団体の手前で小休止しその後いっきに抜き去って行く。I渕さんが「今日のO西さんはいつものO西さんじゃないみたい。なんか気合が入っているよね」と迷惑そうにつぶやいていた。ガシガシ高度を上げ雑木林に変り、平坦な道になるとミツバ岳山頂に着く。山頂手前の右側にミツマタの大群落があり、黄色い花が斜面を埋め尽くす。

山頂は小さな標識があるだけで花は少なく、その先のシカ避けネットをくぐった先に富士山が見えミツマタの花が咲いている。ここが一番のビューポイントで、カメラを担いできた人たちはここを目的に登って来る。我々はミツマタの花の下に腰をおろし、デコポンや信玄餅をいただきながら景色を楽しむ。富士山とミツマタの花をバックに記念写真を撮り、名残惜しいが権現山へ向かって出発する。

杉林の中を緩やかに下ると、鞍部手前の右側にミツマタの大群落が見られる。ここのミツマタは木が若く小さいが、花の密度が高く見応えがある。鞍部まで下りここから権現山山頂までは200m強の登りだが、今日のO嬢は絶好調で休むことなく山頂まで登り切った。山頂手前のベンチで休憩し、菓子やチョコを食べエネルギーを補給する。山頂標識の前で記念写真を撮ったら下山する。

「この先踏跡不明瞭、初心者の通行不向き」の注意板を見て、浅瀬入口への尾根を下って行く。コースが南に向きを変えると、岩交じりの急斜面を下るようになりゆっくりと慎重に下る。

30分程下ると傾斜が緩くなって鞍部に出て、ほんのひと登りで756mのピークに着く。風が無いのでここでランチタイムとし、焼きそばとスープを作っていただく。皆さん焼きそばは好きなようで、美味しいと言って食べてくれた。

ランチが済んだら下山する。少し下った所にミツマタやアブラチャン、キブシの花が咲いていて、「ウワ～綺麗」と喜んでいた。

661mピークを過ぎると見るべきものは無くなるが、丹沢湖に向かって下る登山道はとても気持ちが良い。浅瀬入口登山口に着き、皆さんは真っ直ぐ永蔵橋を渡り丹沢記念館へ行き、我輩は右に進んでトンネルをくぐり寺ノ沢駐車場へ車を取りに行く。

車を回収し丹沢記念館に着くと、記念館は休館日でトイレは使えないとの事。靴を履き替えたら車に乗り、道の駅「やまきた」へ行きトイレとお買い物を済ませ帰路につく。帰りも桜を見ながらご機嫌で、「スーさんとてもいい山だから毎年お願いします」とミツバ岳のミツマタが気に入ったようだった。